

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 047	提案機関名 農業技術センター足柄地区事務所
要望問題名 パンジーの生育後半に発症する様々な生理障害の原因究明	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 神奈川県におけるパンジーの生産量は、全国第2位で、横浜市、藤沢市を中心として、広く県下で生産されており、その品質は高い。近年、一層の品質向上を目的に、機能性液肥やアミノ酸、石灰や加里系の資材、微量要素など様々な資材を利用している生産者も多く見られる。それらの生産者の中で、特に生育後半になって、様々な生理障害が発生し、土壌pHを調べると適正値を外れる事例が増えている。現場では、pHを適正にするなどの対処療法により回復を待つ状況で、根本的な対応・指導ができない。そこで、原因究明のため、土壌pHに起因するパンジーの微量要素欠乏・過剰の再現ならびに解決方法について検討を願いたい。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部土壌環境研究課
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	現場で発生している生理障害の状況が様々なようですので、当面は実態調査で土壌分析や植物体中の微量要素分析等を実施し、生理障害の発生要因等が明らかになったものから、地力保全対策診断調査の課題の中で、再現試験や回復試験等に取り組んでいきたいと考えます。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			